

はなび 花火

はなび なつ たの ひと にほんじゅう はなびたいかい
花火は夏の楽しみの一つです。日本中あちらこちらで花火大会がありま
す。かわ みずうみ かいがん おお ほっかいどう こ
す。川や湖や海岸であげることが多いです。北海道のとうや湖であげら
れた世界一大きい花火の玉は、直径が1.08メートルで重さが421キログラ
ムもあつたそうです。ドーンとあがつたあとで、すいめん ひ こ わ
水面におちた火の粉の輪は
ちよっけい
直径800メートルもあつたそうです。

にほん がいこく はなび み
日本ばかりでなく、外国でも花火が見られます。たとえばアメリカでは7
がつよっか どくりつきねんび かくち み はなび さいご
月4日の独立記念日に各地で見られます。いろいろな花火があがつて、最後
はナイアガラたきの滝やアメリカの国旗こつき・せいじょう旗きの花火はなびで終わります。でも
はなび しゅう
花火をしてはいけない州もあるそうです。

とうきょう はなびたいかい なん い すみだがわ はなびたいかい いちばんゆうめい
東京の花火大会では、何と言つても隅田川の花火大会が一番有名で
す。たいてい7月のさいごの土曜日に行われます。その時に、ひじょうに
ひと けんぶつ く とうきょうじゅう ひと あつ
おおぜいの人が見物に来るので、まるで東京中の人があつたようです。

はや よやく やかたぶね の たの ひと かわ どて
早くから予約しておいて、屋形船に乗つて楽しむ人もいれば、川の土手に
けんぶつせき と ひと おお ひと ひと なが ある
見物席を取る人もいます。でも多くの人、人の流れにそつて歩きながら
けんぶつ はなび ふた ばしょ ひろ
見物します。花火は二つの場所からドドーンとあがり、パツト広がつて、い

いろいろな色や形いろ かたち へんかに変化します。それは「しかけ花火はなび よ」と呼ばれていて、毎年まいとしコンテストも行おこなわれます。

わたしはゆかたき み い たのを着て見に行くのが楽しみですが、テレビで見ることもあ
ります。見物人けんぶつにん なかの中には、外国人がいこくじんもたくさんいます。次から次に「ドド
ン」とあがって、「パッ」と散ちる花火はなびはとてごうかうつくで美ゆめしく夢のようです。

ながながじかんじかん、つづけて見みていると、首くびが痛いたくなります。毎年まいとしこの日ひをみんなが
首くびを長ながくして待まっています。